

建設防災委員会現地視察報告

令和2年8月25日に、建設防災委員会が上ヶ原浄水場及び水上消防署を視察いたしました。

上ヶ原浄水場は西宮市の甲山のふもと、自然環境に恵まれた場所にある神戸市の浄水場で大正6年（1917年）に完成しました。千苺（せんがり）貯水池からの水をきれいにして、阪神水道企業団から購入した水とともに神戸市の市街地に水を送っています。また、工業用水道の浄水機能も受け持っており、神戸市で唯一の工業水道の水を作る施設となっています。

しかしながら、浄水場施設の老朽化が進んでいるため、次の100年も安定的に水を送るために、今後、再整備が必要な状況となっています。今後給水収益の減少が見込まれることから、コストの縮減・運営事業における効率的な施設運用が必要であるため、現在、官民連携手法を採用した再整備事業が進められています。



水上消防署は陸上と海上を管轄する神戸市で唯一の消防署です。人口島ポートアイランドの入り口に位置しており、ポートアイランド、神戸港、神戸空港、全市の海岸線の火災・災害に対応して市民の生命・財産を守っています。

視察では、消防艇やドローン・重機の活用方法、コロナ禍における感染防止策を徹底した救急対応等について説明を受けた他、水難特別救助隊の訓練を見学しました。

